

**田彦 Community TABIKO**

第81号 R3.3.10 発行

編集・発行  
田彦中学区地域づくりの会・広報委員会  
TEL.029-274-5222 FAX.029-276-1609  
〒312-0063 ひたちなか市田彦950-128  
田彦コミュニティセンター内  
田彦コミセン 検索

背景は、早戸川堰からのG1タワー

## 安全を地域で見守る

田彦地区の小中学校は、隣り合わせにあり小中一貫校的なところがあります。児童数は小学校881名、中学校410名。学校への通学路は道幅も狭く、車の往来も多い。子供たちにとっては大変危険な道路となっています。今回の「私の住みたい街」特集では、子供たちの目線で寄稿してくれました。地域の一人ひとりが地域の安全と子供たちの健やかな成長を見守っています。

▲狭い通学路は、行政に要望してグリーンベルトが引かれました。




ひたちなか地区防犯協会田彦中学区分会では、防犯啓蒙活動として新たに日立Astemo(株)(旧日立AMS)佐和工場東南側に看板を設置しました。地域には「防犯連絡員」の方々も活動しています。



原則、毎月1日は、茨城県の交通安全の日。毎月15日は、高齢者の交通事故ゼロの日です。交通安全協会田彦支部では、交通安全啓蒙活動として立哨を行っています。



危険な場所に交通安全母の会、子ども会や地域の方等が中心になり、立哨活動を続けています。お父さんやお母さんも仕事等の関係で、毎日続けることが難しい場所もあります。

**コミュニティ ひろば**

緑と花の愛護普及活動 環境部会

コロナ感染が深刻化するなか環境部会はコロナ感染症規則を遵守し部会全員参加のもと、早朝から大島公園花壇に四種の色々のパンジーの植栽活動を実施しました。植栽と合わせ今年度はプラ

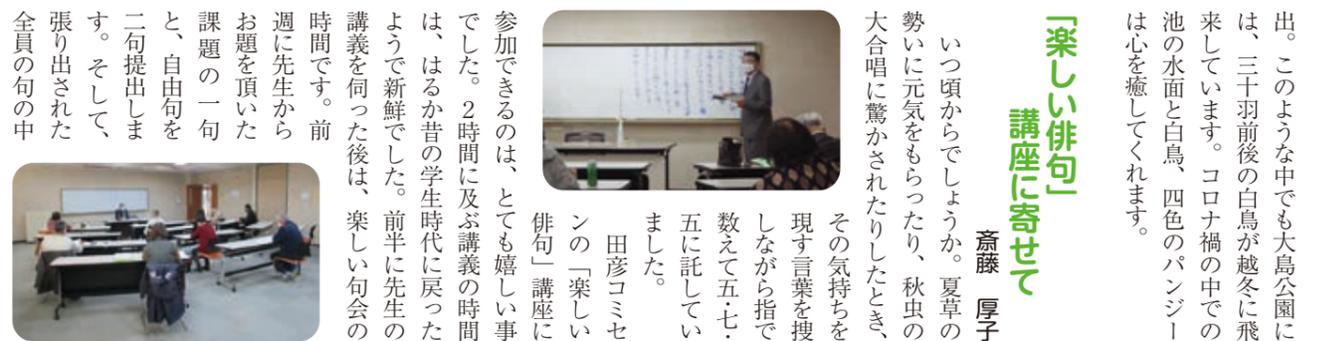


出。このような中でも大島公園には、三十羽前後の白鳥が越冬に飛来しています。コロナ禍の中での池の水面と白鳥、四色のパンジーは心を癒してくれます。

「楽しい俳句」 講座に寄せて 齋藤 厚子

いつ頃からでしょうか。夏草の勢いに元気をもらったり、秋虫の大合唱に驚かされたりしたとき、その気持ちを現す言葉を捜しながら指で数えて五・七・五に託していました。

田彦コミセンの「楽しい俳句」講座に参加できるのは、とても嬉しい事でした。2時間に及ぶ講義の時間は、はるか昔の学生時代に戻ったようで新鮮でした。前半に先生の講義を伺った後は、楽しい句会の時間です。前週に先生からお題を頂いた課題の一句と、自由句を二句提出します。そして、張り出された全員の句の中



から、各自これと思う句を選び、その理由を発表します。見た事や感じた事を共有し、意外な解釈になるほど思ったりして、とても刺激のかつ楽しい時間です。

ここで一句 春一番 コロナ退散 願いしが

地域で学ぶ市総合計画等 市民会議

令和3年3月から「市第3次総合計画後期基本計画」が実施されます。これに先立ちパブリック・コメント(広く公に情報開示・意見を聞く)の募集がありました。地域の方は興味があるが、わかりにくいなどの意見もあり、12月に自治会役員等の皆さんで勉強会を開催しました。

講師に市担当部署からの本計画の説明と参加者それぞれの立場での意見交換を行いました。

本計画の期間は5年(R3)R7年度。今後、急激に進む少子高齢化による人口減少。それに伴う経済活動の縮小や集約が想定されます。このことは市の財政や市民活動の縮小に繋がる大きな問題



今日からできる リサイクル!!

田彦コミュニティセンターでは、こんなものも回収しています!!

【牛乳パック】

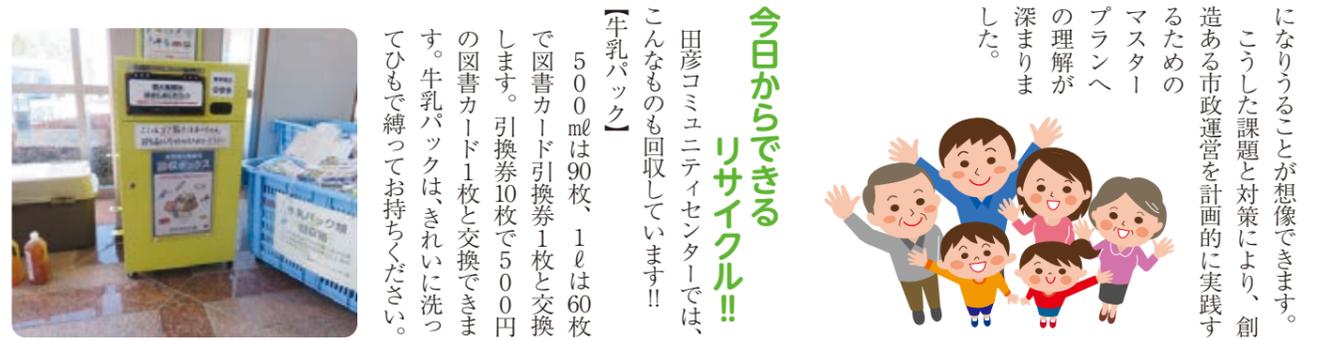
500mlは90枚、1リは60枚で図書カード引換券1枚と交換します。引換券10枚で500円の図書カード1枚と交換できます。牛乳パックは、きれいに洗ってひもで縛ってお持ちください。

【廃油】

市は、ゴミ収集車やボイラーの燃料として廃油を再利用しています。使用済みもしくは未使用の食用油を回収しています。瓶入りは回収できませんので、ペットボトルに入替えてください。

【使用済み小型家電】

携帯電話等小型家電に含まれる鉄やアルミニウム、レアメタル等有用金属のリサイクルにご協力ください。館内に黄色い回収ボックスが設定されています。



編集後記

2020年は、世界中で新型コロナウイルスの戦いが始まった。毎日コロナ感染のニュースが途切れることはなかった。3月には、初めての緊急事態宣言発出。人との接触8割減。実質、日本中がロックダウン。その後の2波、3波。コロナ禍2年目、2月中旬から日本でもワクチン接種が始まり、新たな局面に変わりつつある。こうした中、地域の方のいとなみを記録できればと企画編集に奮闘しました。

寄稿いただきました皆さまありがとうございます。

メンバー

- ◎ 平田源蔵 ○ 宮崎祐輔
- 菅原公子 大貫 勉
- 橘 久吉 新原正行
- 池田 寛 古谷登代子
- 野沢井昌子 安島真弓

私の好きなひたち海浜公園



朝日子ども会 遠藤 夏葵
私は、ひたち海浜公園が、大人も子ども楽しめる場所だから好きです。

理由は二つあります。一つ目は、みはらしの丘は季節によって風景が変わることです。春はブルーのネモフィラ、夏は緑のコキア、秋は赤く色づくコキア、いつ来てもすてきな景色が楽しめます。

二つ目は、遊園地もあることです。私は、「ディスクオー」という絶きょう系の乗り物が好きです。楽しいので、何回でも乗りたくなります。最近では、VRを使った乗り物もあり、どんどん進化しています。

昨年の夏は、水遊び場が使えなかったけど、夏になるとここで、小さい子供達が水着姿で、よく遊んでいます。私も小さいころは、友達とたくさん遊びました。今年の春には、サイクリングを家族みんなで楽しみたいです。

僕の学んだこと



つばさ子ども会 横須賀 亮太
去年の春は、新型コロナウイルスで学校が休校になり、休校中は友だちと遊べず、野球教室やプールも休みになってさびしい思いをしました。こんな病気は、早くなくなればいいなと思いましたが、

早くも、新型コロナウイルスにかからないために、毎日マスクや手洗い、うがい、ステイホームで感染対策に気をつけています。新型コロナウイルスがこわい病気でなくなるためには、インフルエンザのようなワクチンが必要なのを知りました。お父さんから「ワクチンを作るために世界中の研究者が、頑張っ

て仕事をしているんだよ」と聞きました。早く完成したワクチンが世界中の人にとどいて、前のように安心して暮らせるようになってほしいです。そして、ほくも大きくなったら役に立てるように、頑張っているいろいろなことを勉強した

グラウンドのある街

ひかり子ども会 深津 来輝
ほくの住みたい街は、とても大きなグラウンドに大きなネットがはってあるグラウンドがほしいです。このようなグラウンドがある

一つ目の理由は、この田彦学区には、とても大きいグラウンドがなく、ふつうの公園は、みんながサッカーや野球をしていると、ボールが当たりそうになります。みなさんは、ボールがあたりそうになるので危ないと思います。か。もし、ボールがあたるとケガをすることがあります。



二つ目の理由は、ネットがあるところとボールが高く飛んだときに道路に飛んで、車に当たってしまうかもしれないからです。だからこのような大きな

私の住みたい街 II 子ども会マップ. Map showing 10 numbered locations: 1.かがやき, 2.みどり, 3.房田, 4.つばさ西, 5.つばさ東, 6.わかば, 7.ひかり, 8.光陽, 9.大島西部, 10.朝日.

日常を取り戻した街

田彦西自治会 平野 幸男
自治会では、皆様が共に集い同行う事業を通じて地域住民の親睦を深め、地域連帯意識の高揚をはかっております。また、恒例行事として秋の運動会、高齢者を祝う会、一人暮らしの方を労う会などありコミュニケーションを深めています。

今年、新型コロナウイルスの出現に伴い、私達の生活や仕事、地域のあり様を大きく変えました。人は今までのように自由に動けない。地域活動も慎重になり、しばらく停滞しています。

誰もが感染する可能性があり、一人ひとりが感染予防を徹底するしかありません。今望まれるのはコロナの終息です。子どもから高齢者までが安全・安心を感じながら生活を送ることができ、日常を取り戻したい。



持続可能な街



堂端自治会 齊藤 健太郎
私の住む街には、近くにスーパーやコンビニ、カフェなどがあり、恵まれた街です。自治会では、会員の方

が活動として行っている公園の除草やゴミ拾い、花植え、防犯パトロールなどが挙げられます。私は令和2年より西光地2班の班長を務めています。今年度は新型コロナウイルスの影響で自治会活動が

できず、一時期公園が雑草だらけになりました。昨年末に一度だけ行うことができたゴミ拾い活動では、多くの自治会員の参加があり街をきれいにすることができ、改めて活動の大切さを感じました。また、防犯パトロール中には地域の方たちと挨拶を交わしながらつながりを感じることもできました。ずっと住みたい街」と思える「きれい・安心・安全」な街づくりを目指して、今後も活動を行って

大島公園に思う

西大島自治会 金井 良吉
「お住まいはどちら?」と聞かれ、「大島公園の近くです」と話

が通じる。多くの人が知っている大島公園。春は桜、夏は木陰での涼しみ、秋は紅葉、冬は白鳥と、季節を感じられる公園。また1年を通して、散歩、子ども達の遊具遊び、釣り、ギターで音楽など、公園を楽しんでいる人達も多い。

公園は、「憩い、又は、遊びを楽しむ場」であると言われる。大島公園の中には地域づくりの会の花壇があり、きれいな花を咲かせている。これも、「憩い」を生み出す効果の一翼を担っている。



我々の身近にある大島公園を地域のみんなで有効に利用し、公園を軸とした交流の場が出来たらと思う。そして、人々がより楽しい繋がりが出来ることを望みたい。

グラウンドに大きなネットをはって、ケガなく楽しく元気に遊べる公園がある街に住めたらいいです。

安全に歩ける町



みどり子ども会 若林 葵
私の住みたいと思う町は、安全に歩いて、みんなが安心して歩ける町です。

公園で遊んで、地域の人たちともコミュニケーションが取れる町です。今、私が田彦に住んでいて感じているのは、歩いている時に車が近くて危ないと思います。

広い道路もあるけれど、通学路で使う道はほとんどが狭くて、いつもすぐそばを車が通るので怖いんです。でも、地域の人たちが見守ってくれている時は、少し安心して歩けるので、感謝しています。

新しい公園も出来たけど、あまり広々とはしていないので、すぐにたくさんの人でいっぱいになってしまい、なかなか思い切り遊べません。道路もすぐそばなので、ボール遊びも出来ないです。自転車の練習をする場所がなくて、お母さんが自転車に乗せてくれて、違う町の広い公園へ練習に行った事もあります。それもなかなか大変なのであまり自転車の練習が出来ていません。

地域の人達とのコミュニケーション

顔の見える地域に

田彦東自治会 下田 美穂
今ではすっかり顔なじみになり、「今日はいるか?」と会えるのを楽しみにしている月2回の資源ごみ。「来るのを待っていたんだよ」と毎回笑顔で迎えてくれます。子ども達は得意の折り紙をプレゼントして、楽しい朝の交流のひとときです。

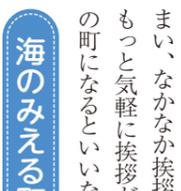
防災訓練、自治会主催のボリリング大会、田彦地区の運動会も家族で参加しました。参加するたびに顔見知りが増えて、参加するとまた声がかかり、参加が楽しみになる。「若い人がいるといいわね!」と言われたり、子どもの元気な声を歓迎してくれたり、新しい人のことを大事にしてくれるのがとてもありがたいです。

田彦東公園が近くにでき、芝ほりにも参加し、毎日庭のように利用しています。

地域の人の交流、つながりを大切に、声を掛け合って顔の見える近所付き合いが出来ればいいなと思います。公園をコミュニケーションの中心の場に、公園に行けば誰かがいてほっとするような場所に、そんな街にしていきたいです。

シヨンを取れる時がないので、通学路で見守ってくれている人にか挨拶ができていません。お母さんは道を歩いている知らない人にも挨拶が出来るのですが、私は挨拶をしていいのか迷っています。私にはなかなか挨拶ができません。もつと気軽に挨拶が出来る雰囲気

海のみえる町



わかば子ども会 押領司 航希
ほくは、海や魚が好きです。海や魚を見ていると穏やかな気持ちになります。

自分の好きな時に海を見るために、海が見えるくらい高い見晴らし台のある公園が、家の近くにあるといいなと思います。この公園の見晴らし台に上り、好きな時に海をながめて、船が通る様子を見たり、魚やサメのことを考えてみたいです。

この公園には、サメや深海生物の形をした遊具や、海にみたてた青い花をいっぱい咲かせた花壇を作って、海を感じられるようにしてもいいと思います。見晴らし

台からは、日の出や夏には花火などが見えて、いろいろと楽しめると思います。

私の住んでいる街



大島公園西自治会 池辺 義紀
中国満州で産声を上げ、北海道、福島県で育ち高校を出て勝田市に生ま

た。日立製作所に勤務して無事定年を迎え、今は老後を夫婦で水入らずに過ごしています。市内に住んで47年。家から眺める青空と大島公園の緑に、いつも心が洗われます。

私は花が大好きでパンジー、シクラメン、ジュリアンとポリアンに水と液肥をやることで楽しんでます。これから庭にはスイセン、チューリップとバラが咲いてきて、週一回の庭仕事は大変ですけど、わくわくしています。特にバラは、春から秋まで楽しめています。

最近周辺には新しい家が次々と建ち、多くの子ども達の朝の通学を見るとき、まさにこの街は私の住みたい街そのものです。自治会の皆さんのご努力には大変感謝しています。私も地域活動のお役に立ちたいと思っています。